



untitled

「untitled」肩書きや、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して…。

総会

神奈川県社会福祉青年経営者会通信

平成21年2月24日 神奈川県社会福祉会館において 平成20年度第2回青年経営者会・総会が開催され、(福)相模福祉村の赤間源太郎氏が新会長に承認されました。平成21年度事業計画(案)、平成21年度予算(案)が審議されました。

新会長挨拶

「誰のために存在する組織か」

神奈川県社会福祉青年経営者会 会長 赤間 源太郎
(社会福祉法人 相模福祉村)

今年度の会長を務めさせていただくことになりましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

前会長の社会福祉法人泉心会小泉隆一郎会長におかれましては、2年間にわたり当協会の活動にあたられ、心より御礼申し上げます。

さて、皆様方にはすでにご案内の通りでございますが、私たちの組織は、次代を担う世代の同志が結集して福祉界における青年経営者の自己啓発、経営研究、情報交流等を通じ、福祉界の発展に寄与する目的で活動していく場と理解しております。

しかし、複雑化する現代の諸課題が山積している今だからこそ、私たち組織側の自己満足ではなく、『誰のために存在する組織か』を再確認し、現場の仲間たちさえも巻き込む必要があるのではないかと感じております。

誰のために存在する組織か、即ち、誰に必要とされているか。利用者、地域はもとより組織で働く職員にとっても。それらに対する必要性を常に考えて改善しつづけていることが大切なことなのでしょう。組織内においても、前例や縦割りの発想にとらわれず、関係する多くの方々との議論を深めながら解決策を見出してゆきたいと思えます。そして、広く国民、県民、市民の理解と共感を得ながら、前向きな行動を展開したいと考えております。

以上、簡単ではございますが、会員の皆さまの益々のご発展を祈念致しまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。



神奈川県社会福祉青年経営者会集中セミナー

平成20年10月15日(水)～10月16日(木)

場 所:湯河原温泉「翠明館」

テーマ:「人材採用」こうすれば人は集まる

去る10月15日(水)～16日(木)にかけ、湯河原温泉の「翠明館」にて宿泊集中セミナーが開催された。講師には、平成20年6月の総会にお招きした年間講演40回を超える(株)船井総合研究所・チーフコンサルタントの糠谷和弘氏にお越しいただいた。出席者は会員・非会員を含め24名であった。

船井総合研究所社長が今までに手掛けてきたのは10,000社。会社経営に大切なのは素直でプラス思考、そして勉強好きなことで、マイナス発想や知ったかぶりは失敗するとのこと。また職員を教育するにはプラスとマイナスの目を持ち、リフレーミングすることにより改めた考え方ができ伸びるという。

糠谷氏は、前回のテーマ「職員満足度の向上・離職率の低下を図る」の続編とし、今回は更に足を踏み入れ、こうすれば人は集まるというマーケティング方法や経営者が陥りやすい間違い、中途経験者がもたらすデメリット、またリクルーティング戦略などについて詳しく話された。人材確保に関しては、ホームページアクセス数断突の携帯ホームページの重要性や、動画、実際の活躍の声、既存スタッフの写真の掲載等、ホームページ作成上の事例を多数ご紹介いただき、我々も改めて見直さなければならない点を学んだ。



1日目 研修会の様子



2日目 パネルディスカッション

2日目は、高齢・保育・障害より研究委員会の中間報告と、神奈川やすらぎ会の西迫哲氏が座長となり“人材”をテーマに意見を交わした。中でも話題となったのは重労働のわりに低賃金のため学校自体が福祉を薦めず、福祉専門学校でも人員割れをしているとのことや、インドネシアからの外国人研修生の雇用についてであった。いま世界的不況といわれる中、職を失い、再就職を探している人がたくさんいるはずだが社会福祉施設での人材不足はまだまだ難題であるといえよう。

関東甲信越静ブロック青年経営者会設立総会・研修会

日時:平成21年1月29日(木)～30日(金)
研修テーマ「事業経営と市民活動」
会場:ラフレさいたま

平成21年1月29日(木)から30日(金)にかけて、埼玉にある「ラフレさいたま」を会場に、1都9県83名が集い(神奈川からは6名が参加)、事業経営と市民活動をテーマに2日間にかけて研修会また 関東甲信越静ブロック青年経営者会設立の総会が執り行なわれました。

講演1 「経営者の使命」

社会福祉法人育心会 理事長 丸木憲雄氏

社会福祉法人は公益法人として利潤の再分配をする。すなわち地域への利益還元を果たすべきとの考えを示された。

講演2 「流通業界における企業経営」

アサヒロジスティクス(株) 代表取締役会長 横塚正秋氏

社員の誕生日・子どもの入学・妻の誕生日に会社からメッセージカードを添えて御食事券を送ったり、社員の福利厚生のために高級外車を購入して貸出したりとやめたくない会社をつくることによって社員教育の徹底を図り、会社を伸ばしてきた成功例を話された。

講演3 「地域に根差した市民活動～骨髄バンク推進のために」

全国骨髄バンク推進連絡協議会会長 大谷貴子氏

骨髄バンク設立のために全国の方の協力で100万人以上の署名を集めた事や、日テレの金スマで取り上げられた実話の話でドナーとして骨髄を提供したいという娘に、体を心配して最後まで反対した父の話がされた。

設立総会

関東甲信越静ブロック青年経営者会設立にあたり規約を制定しましたが、この規約に役員として会長は総会が開催される県の代表者が当たること、また副会長は次年度の開催県の代表者があたる1都10県の各任期1年の持ち回りとなった。当日は全国青年経営者会会長の久木元氏も駆け付け、お祝いの言葉を述べられた。



総会の様子

平成20年度第2回総会

平成21年2月24日14:00～14:40 於神奈川県社会福祉会館

議案1 役員の改選について

任期満了に伴う役員の改選にあたり、平成20年12月25日および平成21年1月16日に役員選考委員会が開催された。押川哲也役員選考委員長(地域福祉協会)より役員選考委員会で、赤間源太郎氏(相模福祉村)を次期会長候補として、立候補、役員については新会長に一任し決定したと報告された。

選考委員会の決定事項について、議長が諮ったところ、特に異論はなく承認を得た。その後、新会長の赤間源太郎氏(相模福祉村)より就任の挨拶がされた。

第2号議案 平成21年度事業計画(案)について

議長は本議案の説明を副会長 高橋 輝彦(照陽会)に求めた。高橋副会長は「平成21年度事業計画(案)」に基づいて、総会・研修会・委員会活動・経営者部会との連携・会員総会及び役員会の開催予定また、高齢・保育・障害それぞれの分野の研究委員会の説明を行った。議長は、本議案の質疑を議場に諮ったが特に出なかったため、議案の採決を挙手にて行った。出席会員、賛成多数で本議案は承認された。



総会研修

平成21年2月24日 15:30～17:00

テーマ「ゼロからの再出発」～1000億円を失って知った価値の根源～

講師：川又三智彦氏 (ツカサグループ代表)

ウィークリーマンションなどのテレビコマーシャルで有名なツカサグループ代表の川又三智彦氏をお招きし講演をしていただいた。日々の行動記録につけたり、新聞・雑誌などの切り抜き、未来を予想するなど、独自の考えを述べられた。また、仕事で悩み、本を読みあさって行き着いたのが「量子論」とのこと。量子論に基づいてマイナスにもものごとを考えない、プラスに考えないと他の人にそれが伝わってしまう。だから、元気であるのだとのこと。年金・雇用・教育などさまざまな社会問題を解決するため、「昭和30年代村」をつくり、心懐かしい街並みと心豊かだった時代の日常生活の実現に向けて取り組んでいるとのこと。

新入会員です 会員状況(4月1日現在)

会員数 91名 / 法人数 76法人

三神会	井田友花
大和しらかし会	遠藤和宏
米寿会	米山康之
すぎな会	小野寺明子
西久保福祉会	岩澤貞之
湘南福祉会	梅原正美
浄泉会	武居浩二
松宝会	山本隆史

定年退会者

厚木慈光会	天利俊介	ふたば会	横地みどり
すぎな会	三浦公男	横浜白光会	矢部 徹
竹生会	前田卓哉		

編集後記

今年の冬は、暖かかったですね。不景気な世の中ですが、それを吹き飛ばす勢いで、21年度もがんばっていきたいと思います。

お悔やみ申し上げます

青年経営者会会員で前監事を務められた(福)至泉会の加藤亨さんにおかれましては、去る1月3日、ご逝去